様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	山形スポーツ医療福祉専門学校
設置者名	学校法人　大原学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間･通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務専門課程	経理本科２年制学科（情報）	夜・通信	180 時間	160 時間	
	医療事務学科	夜・通信	180 時間	160 時間	
教育･社会福祉専門課程	介護福祉学科	夜・通信	280 時間	160 時間	
文化・教養専門課程	スポーツ学科	夜・通信	180 時間	160 時間	
（備考）					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページにて公表 https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	山形スポーツ医療福祉専門学校
設置者名	学校法人　大原学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公表 URL：https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/officer_list.pdf

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	司法書士事務所 所長	2025.5.29 ～ 4年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで	法人運営における法務的な検証、管理
非常勤	Web デザイン・システム開発・印刷関連企業 代表	2025.5.29 ～ 4年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで	学生募集、教材開発への助言
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	山形スポーツ医療福祉専門学校
設置者名	学校法人　大原学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書（シラバス）を作成し、公表していること。

（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要）

１．作成について

授業計画書（シラバス）は毎年度、学科会議により授業科目の設定・講義内容について検討を行い、学科の担当教員が作成を行っている。なお、検討にあたっては、専門分野に関する企業、団体等との連携により設置している教育課程編成委員会の提言を各授業科目の内容に反映させている。

授業計画書（シラバス）の作成、記載項目は学校全体で定めたガイドラインに沿って行っている。

２．公表の時期について

年間計画に基づき、教育課程編成委員会での意見収集を反映させたうえで、前年度中に作成を行い、新年度開始前までにHPを通じて公表している。

授業計画書の公表方法	https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）

学則並びに履修要綱において、出席、試験、成績、進級および卒業要件について規定し、当該規定を遵守して各学生の学修成果に対して厳格な評価を実施している。

なお、学生に対しては当該規定を学生便覧に記載して周知を図っている。

学則より抜粋

（試 験 等）

第１８条　学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等により評価する。なお、本校において必要と認めた場合に限り、追試験又は再試験等を行うことがある。追試験は事故等やむを得ない理由により試験等を受験しなかった者に対し行う。再試験は試験等受験の結果、不合格となった者に対して実施する。

２　各授業科目の成績評価方法については別に定める。

（学業成績）

第１９条　学業成績の判定は、秀、優、良、可、不可の５種をもってこれを表し、秀は９０点以上、優は８０点以上、良は７０点以上、可は６０点以上、不可は６０点未満とする。

２　授業科目の成績は、前項の５種で表すと共に、それぞれの評価に対して、別に定める基準によりＧＰ（Ｇｒａｄｅ－Ｐｏｉｎｔ）を与える。

（単位の授与）
第２０条　授業科目を履修し、各科目の成績を判定の上、秀、優、良、可を取得した学生には所定の単位を与える。
２　介護福祉学科の履修においては、次に掲げる３項目に基づき認定する。
（１）授業科目ごとの出席率が基準を満たしている者
授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の３分の２に満たない者、及び介護実習の出席時間数が履修時間数の５分の４に満たない者は、履修の認定を行わないこととする。
（２）授業科目ごとの学業成績で合格を修めた者
（３）実習先施設で実習要件を満たしたと評価された者

（進級の認定）
第２５条　進級の認定は、各学科の各学年において定める授業時間の履修及び単位の修得を行い、かつ、出席状況等学習姿勢も考慮の上、進級判定委員会にて審査を行う。

学生便覧より抜粋
１．進級について
各課程・学科において、所定の授業科目の履修を積み重ね、各課程・学科の進級に必要な授業科目および単位数を修得したと認められた場合、進級できる。
２．卒業について
各課程・学科の修業年限に在籍し、所定の授業科目の履修を積み重ね、各課程・学科の卒業に必要な授業科目および単位数を修得し、卒業審査に合格した者について卒業できる。その場合には卒業証書を授与する。
３．学業成績について
学業成績は、授業科目ごとに行う試験によって判定する。ただし、授業科目によっては、その他の方法で判定する場合がある。
なお、学業成績は、学期または必要に応じて、授業の出席状況とともに保護者宛に通知する。
４．授業について
全ての授業科目において、出席・欠席・遅刻・早退を記録する。各課程・学科の授業科目や授業時間、授業科目の単位数は、各課程・学科によって異なるため、入学後のオリエンテーションや進級ガイダンスなどで確認すること。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）
学業の達成度を客観的に評価するための指標として GPA（Grade Point Average）を採用し、本校の成績評価に使用している。本校では GPA を基準に成績の分布状況の把握に努めているほか、学生個人の就職や大学編入学への推薦等の際にも客観的指標として GPA を活用している。この客観的な成績評価指標については HP で公開するほか、学生便覧にも記載して周知を図っている。
客観的な指標（GPA）の算出方法
（１）指標
成績評価における客観的な指標として、GPA（Grade Point Average）を用いる
（２）成績評価と GP
授業科目の成績は、「秀・優・良・可・不可」の５種で表すと共に、それぞれの評価に対して、下表のとおり GP（Grade-Point）を与える

ランク	評定	評価内容	GP
秀	合格	内容を十分に理解し、きわめて優秀な成績をおさめている	4
優		内容を十分に理解し、優れた成績をおさめている	3
良		内容を理解している	2
可		内容をほぼ理解している	1
不可	不合格	内容を理解していない	0
認定	－	－	－

（３）相対評価により成績順位をつける場合にはGPAを用い、順位づけの範囲は「学校」とする

（４）GPA算出方法

$$GPA = \frac{（履修科目のGP \times 履修単位数）の合計}{総履修単位数}$$

GPAの最高は 4.0となる。（小数点以下第2位四捨五入）

客観的な指標の算出方法の公表方法	ホームページで公表 https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

■教育目的

本校は、教育基本法及び学校教育法に基づき、商業実務専門課程及び教育・社会福祉専門課程並びに文化・教養専門課程を設置し、これらの分野に関する教育を施し、人格の陶冶を行い、もって有為な人材を育成することを目的とする。

■卒業の認定

本校に修業年限以上在学し、下記に定める授業時間数以上を履修し、かつ、下記に定めるところにより授業科目及び単位数を修得し、卒業審査に合格した者について、校長が行う。

（１）経理本科２年制学科（情報）
　　１，７００時間（６２単位）

（２）医療事務学科
　　１，７００時間（６２単位）

（３）介護福祉学科
　　２，０７４時間（６８単位）

（４）スポーツ学科
　　１，７００時間（６２単位）

■専門士

下記学科を修了した者には、次の称号を授与する。

課程名・学科名	称号
商業実務専門課程経理本科２年制学科（情報）	専門士（商業実務専門課程）
商業実務専門課程医療事務学科	専門士（商業実務専門課程）
教育・社会福祉専門課程介護福祉学科	専門士（教育・社会福祉専門課程）
文化・教養専門課程スポーツ学科	専門士（文化・教養専門課程）

学生便覧より抜粋

２．卒業について

各課程・学科の修業年限に在籍し、所定の授業科目の履修を積み重ね、各課程・学科の卒業に必要な授業科目および単位数を修得し、卒業審査に合格した者について卒業できる。その場合には卒業証書を授与する。

（１）卒業を認められる者のうち、文部科学大臣が認める所定の学科（１年制コースを除く）を修了した者は、「専門士」の称号を授与する。

（２）それぞれの課程・学科に定められた授業科目および単位数などで一定の基準を満たしていない者は、追試などを受けなければ卒業できない。

（３）卒業に関する要件は、各課程・学科によって異なるため、入学後のオリエンテーションや進級ガイダンスなどで確認すること。

（４）欠席累計が 100 日（休学日数を含む）に達した者は卒業できない。

卒業の認定に関する方針の公表方法	ホームページで公表 https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	山形スポーツ医療福祉専門学校
設置者名	学校法人　大原学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページで公表 https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/financial-overview.pdf
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
商業実務		専門課程	経理本科２年制学科（情報）		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	1,700 単位時間	90 単位時間	360 単位時間	2,010 単位時間	単位時間/単位	単位時間/単位
			2,460 単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
40 人	24 人	人	1 人	1 人	1 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） １．作成について 授業計画書（シラバス）は毎年度、学科会議により授業科目の設定・講義内容について検討を行い、学科の担当教員が作成を行っている。なお、検討にあたっては、専門分野に関する企業、団体等との連携により設置している教育課程編成委員会の提言を各授業科目の内容に反映させている。 授業計画書（シラバス）の作成、記載項目は学校全体で定めたガイドラインに沿って行っている。
成績評価の基準・方法
（概要） 学業の達成度を客観的に評価するための指標として GPA（Grade Point Average）を採用し、本校の成績評価に使用している。本校では GPA を基準に成績の分布状況の把握に努めているほか、学生個人の就職や大学編入学への推薦等の際にも客観的指標として GPA を活用している。この客観的な成績評価指標については HP で公開するほか、学生便覧にも記載して周知を図っている。

（１）指標
成績評価における客観的な指標として、GPA（Grade Point Average）を用いる
（２）成績評価とGP
授業科目の成績は、「秀・優・良・可・不可」の５種で表すと共に、それぞれの評価に対して、下表のとおりGP（Grade-Point）を与える

ランク	評定	評価内容	GP
秀	合格	内容を十分に理解し、きわめて優秀な成績をおさめている	4
優		内容を十分に理解し、優れた成績をおさめている	3
良		内容を理解している	2
可		内容をほぼ理解している	1
不可	不合格	内容を理解していない	0
認定	－	－	－

（３）相対評価により成績順位をつける場合にはGPAを用い、順位づけの範囲は「学校」とする
（４）GPA算出方法

$$\text{GPA} = \frac{\text{（履修科目のGP × 履修単位数）の合計}}{\text{総履修単位数}}$$

GPAの最高は 4.0となる。（小数点以下第２位四捨五入）

卒業・進級の認定基準

（概要）
■教育目的
本校は、教育基本法及び学校教育法に基づき、商業実務専門課程及び教育・社会福祉専門課程並びに文化・教養専門課程を設置し、これらの分野に関する教育を施し、人格の陶冶を行い、もって有為な人材を育成することを目的とする。
■卒業の認定
本校に修業年限以上在学し、下記に定める授業時間数以上を履修し、かつ、下記に定めるところにより授業科目及び単位数を修得し、卒業審査に合格した者について、校長が行う。
（１）経理本科２年制学科（情報）
１，７００時間（６２単位）
（２）医療事務学科
１，７００時間（６２単位）
（３）介護福祉学科
２，０７４時間（６８単位）
（４）スポーツ学科
１，７００時間（６２単位）

■専門士

下記学科を修了した者には、次の称号を授与する。

課程名・学科名	称号
商業実務専門課程経理本科２年制学科（情報）	専門士（商業実務専門課程）
商業実務専門課程医療事務学科	専門士（商業実務専門課程）
教育・社会福祉専門課程介護福祉学科	専門士（教育・社会福祉専門課程）
文化・教養専門課程スポーツ学科	専門士（文化・教養専門課程）

学生便覧より抜粋

２．卒業について

各課程・学科の修業年限に在籍し、所定の授業科目の履修を積み重ね、各課程・学科の卒業に必要な授業科目および単位数を修得し、卒業審査に合格した者について卒業できる。その場合には卒業証書を授与する。

（１）卒業を認められる者のうち、文部科学大臣が認める所定の学科（１年制コースを除く）を修了した者は、「専門士」の称号を授与する。

（２）それぞれの課程・学科に定められた授業科目および単位数などで一定の基準を満たしていない者は、追試などを受けなければ卒業できない。

（３）卒業に関する要件は、各課程・学科によって異なるため、入学後のオリエンテーションや進級ガイダンスなどで確認すること。

（４）欠席累計が 100 日（休学日数を含む）に達した者は卒業できない

学修支援等

（概要）

個別相談・指導等で対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、ポータルサイトで連絡、個人面談、保護者との連携を実施している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
22 人 (100%)	1 人 (　　4.5%)	21 人 (　　95.5%)	0 人 (　　0%)

（主な就職、業界等）

ND ソフトウェア（株）、TIS 東北（株）

（就職指導内容）

全体指導によるレクチャー、個別相談、個別面接トレーニング、三者面談　など

（主な学修成果（資格・検定等）

基本情報技術者試験

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
49 人	3 人	6.1%

（中途退学の主な理由）
学習意欲喪失

（中退防止・中退者支援のための取組）
学生の様子（出席状況、授業態度、交友関係、ミニテストの成績等）をクラス担任ミーディングで共有し、注意を要する学生に対する支援策を都度実施している。

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
商業実務		専門課程	医療事務学科		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,700 単位時間	1,650 単位時間	1,020 単位時間	480 単位時間	単位時間/単位	単位時間/単位
			3,150 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
60 人	51 人	人	3 人	人	3 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
１．作成について
　授業計画書（シラバス）は毎年度、学科会議により授業科目の設定・講義内容について検討を行い、学科の担当教員が作成を行っている。なお、検討にあたっては、専門分野に関する企業､団体等との連携により設置している教育課程編成委員会の提言を各授業科目の内容に反映させている。
　授業計画書（シラバス）の作成、記載項目は学校全体で定めたガイドラインに沿って行っている。

成績評価の基準・方法

（概要）
学業の達成度を客観的に評価するための指標として GPA（Grade Point Average）を採用し、本校の成績評価に使用している。本校では GPA を基準に成績の分布状況の把握に努めているほか､学生個人の就職や大学編入学への推薦等の際にも客観的指標として GPA を活用している。この客観的な成績評価指標については HP で公開するほか、学生便覧にも記載して周知を図っている。
（１）指標
　　成績評価における客観的な指標として、GPA（Grade Point Average）を用いる
（２）成績評価と GP
　　授業科目の成績は、「秀・優・良・可・不可」の 5 種で表すと共に、それぞれの評価に対して、下表のとおり GP（Grade-Point）を与える

ランク	評定	評価内容	GP
秀	合格	内容を十分に理解し、きわめて優秀な成績をおさめている	4
優		内容を十分に理解し、優れた成績をおさめている	3
良		内容を理解している	2
可		内容をほぼ理解している	1
不可	不合格	内容を理解していない	0
認定	－	－	－

（３）相対評価により成績順位をつける場合にはGPAを用い、順位づけの範囲は「学校」とする

（４）GPA算出方法

$$\text{GPA} = \frac{\text{（履修科目のGP × 履修単位数）の合計}}{\text{総履修単位数}}$$

GPAの最高は 4.0となる。（小数点以下第２位四捨五入）

卒業・進級の認定基準

（概要）

■教育目的

本校は、教育基本法及び学校教育法に基づき、商業実務専門課程及び教育・社会福祉専門課程並びに文化・教養専門課程を設置し、これらの分野に関する教育を施し、人格の陶冶を行い、もって有為な人材を育成することを目的とする。

■卒業の認定

本校に修業年限以上在学し、下記に定める授業時間数以上を履修し、かつ、下記に定めるところにより授業科目及び単位数を修得し、卒業審査に合格した者について、校長が行う。

（１）経理本科２年制学科（情報）
　　１，７００時間（６２単位）

（２）医療事務学科
　　１，７００時間（６２単位）

（３）介護福祉学科
　　２，０７４時間（６８単位）

（４）スポーツ学科
　　１，７００時間（６２単位）

■専門士

下記学科を修了した者には、次の称号を授与する。

課程名・学科名	称号
商業実務専門課程経理本科２年制学科（情報）	専門士（商業実務専門課程）
商業実務専門課程医療事務学科	専門士（商業実務専門課程）
教育・社会福祉専門課程介護福祉学科	専門士（教育・社会福祉専門課程）
文化・教養専門課程スポーツ学科	専門士（文化・教養専門課程）

学生便覧より抜粋
２．卒業について 各課程・学科の修業年限に在籍し、所定の授業科目の履修を積み重ね、各課程・学科の卒業に必要な授業科目および単位数を修得し、卒業審査に合格した者について卒業できる。その場合には卒業証書を授与する。 （１）卒業を認められる者のうち、文部科学大臣が認める所定の学科（１年制コースを除く）を修了した者は、「専門士」の称号を授与する。 （２）それぞれの課程・学科に定められた授業科目および単位数などで一定の基準を満たしていない者は、追試などを受けなければ卒業できない。 （３）卒業に関する要件は、各課程・学科によって異なるため、入学後のオリエンテーションや進級ガイダンスなどで確認すること。 （４）欠席累計が 100 日（休学日数を含む）に達した者は卒業できない
学修支援等
（概要） 個別相談・指導等で対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、ポータルサイトで連絡、個人面談、保護者との連携を実施している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
22 人 （100%）	人 （　　%）	21 人 （　　95.5%）	1 人 （　　4.5%）
（主な就職、業界等） 医療法人　篠田好生会、聖路加国際病院			
（就職指導内容） 全体指導によるレクチャー、個別相談、個別面接トレーニング、三者面談　など			
（主な学修成果（資格・検定等） 医療請求事務検定１級、医療秘書実務検定１級、日商簿記３級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
51 人	3 人	5.9%
（中途退学の主な理由） 学習意欲喪失		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生の様子（出席状況、授業態度、交友関係、ミニテストの成績等）をクラス担任ミーティングで共有し、注意を要する学生に対する支援策を都度実施している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
教育･社会福祉	専門課程	介護福祉学科	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,074 単位時間	1,190 単位時間	848 単位時間	456 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2,494 単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
60 人	24 人	人	3 人	人	3 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

１．作成について

授業計画書（シラバス）は毎年度、学科会議により授業科目の設定・講義内容について検討を行い、学科の担当教員が作成を行っている。なお、検討にあたっては、専門分野に関する企業､団体等との連携により設置している教育課程編成委員会の提言を各授業科目の内容に反映させている。

授業計画書（シラバス）の作成、記載項目は学校全体で定めたガイドラインに沿って行っている。

成績評価の基準・方法

（概要）

学業の達成度を客観的に評価するための指標として GPA（Grade Point Average）を採用し、本校の成績評価に使用している。本校では GPA を基準に成績の分布状況の把握に努めているほか､学生個人の就職や大学編入学への推薦等の際にも客観的指標として GPA を活用している。この客観的な成績評価指標については HP で公開するほか、学生便覧にも記載して周知を図っている。

（１）指標

成績評価における客観的な指標として、GPA（Grade Point Average）を用いる

（２）成績評価と GP

授業科目の成績は、「秀・優・良・可・不可」の 5 種で表すと共に、それぞれの評価に対して、下表のとおり GP（Grade-Point）を与える

ランク	評定	評価内容	GP
秀	合格	内容を十分に理解し､きわめて優秀な成績をおさめている	4
優		内容を十分に理解し、優れた成績をおさめている	3
良		内容を理解している	2
可		内容をほぼ理解している	1
不可	不合格	内容を理解していない	0
認定	－	－	－

（３）相対評価により成績順位をつける場合には GPA を用い、順位づけの範囲は「学校」とする

（４）GPA 算出方法

$$\text{GPA} = \frac{\text{（履修科目の GP × 履修単位数）の合計}}{\text{総履修単位数}}$$

GPA の最高は 4.0 となる。（小数点以下第 2 位四捨五入）

卒業・進級の認定基準

（概要）

■教育目的

本校は、教育基本法及び学校教育法に基づき、商業実務専門課程及び教育・社会福祉専門課程並びに文化・教養専門課程を設置し、これらの分野に関する教育を施し、人格の陶冶を行い、もって有為な人材を育成することを目的とする。

■卒業の認定

本校に修業年限以上在学し、下記に定める授業時間数以上を履修し、かつ、下記に定めるところにより授業科目及び単位数を修得し、卒業審査に合格した者について、校長が行う。

（１）経理本科２年制学科（情報）
　　１，７００時間（６２単位）
（２）医療事務学科
　　１，７００時間（６２単位）
（３）介護福祉学科
　　２，０７４時間（６８単位）
（４）スポーツ学科
　　１，７００時間（６２単位）

■専門士

下記学科を修了した者には、次の称号を授与する。

課程名・学科名	称号
商業実務専門課程経理本科２年制学科（情報）	専門士（商業実務専門課程）
商業実務専門課程医療事務学科	専門士（商業実務専門課程）
教育・社会福祉専門課程介護福祉学科	専門士（教育・社会福祉専門課程）
文化・教養専門課程スポーツ学科	専門士（文化・教養専門課程）

学生便覧より抜粋

２．卒業について

各課程・学科の修業年限に在籍し、所定の授業科目の履修を積み重ね、各課程・学科の卒業に必要な授業科目および単位数を修得し、卒業審査に合格した者について卒業できる。その場合には卒業証書を授与する。

（1）卒業を認められる者のうち、文部科学大臣が認める所定の学科（1年制コースを除く）を修了した者は、「専門士」の称号を授与する。
（2）それぞれの課程・学科に定められた授業科目および単位数などで一定の基準を満たしていない者は、追試などを受けなければ卒業できない。
（3）卒業に関する要件は、各課程・学科によって異なるため、入学後のオリエンテーションや進級ガイダンスなどで確認すること。
（4）欠席累計が 100 日（休学日数を含む）に達した者は卒業できない

学修支援等

（概要）

個別相談・指導等で対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、ポータルサイトで連絡、個人面談、保護者との連携を実施している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
9 人 （100%）	人 （　　%）	9 人 （　　100%）	人 （　　%）
（主な就職、業界等） 社会福祉法人恩賜財団済生会支部　山形県済生会、社会福祉法人　恵泉会			
（就職指導内容） 全体指導によるレクチャー、個別相談、個別面接トレーニング、三者面談　など			
（主な学修成果（資格・検定等） 介護福祉士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
21 人	5 人	23.8%
（中途退学の主な理由） 学習意欲喪失、進路変更のため		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生の様子（出席状況、授業態度、交友関係、ミニテストの成績等）をクラス担任ミーディングで共有し、注意を要する学生に対する支援策を都度実施している。		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
文化・教養		専門課程	スポーツ学科		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,700 単位時間	1,500 単位時間	420 単位時間	960 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2,880 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
50 人	23 人	人	3 人	人	3 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） １．作成について 　授業計画書（シラバス）は毎年度、学科会議により授業科目の設定・講義内容について検討を行い、学科の担当教員が作成を行っている。なお、検討にあたっては、専門分野に関する企業､団体等との連携により設置している教育課程編成委員会の提言を各授業科目の内容に反映させている。

授業計画書（シラバス）の作成、記載項目は学校全体で定めたガイドラインに沿って行っている。

成績評価の基準・方法

（概要）

学業の達成度を客観的に評価するための指標としてGPA（Grade Point Average）を採用し、本校の成績評価に使用している。本校ではGPAを基準に成績の分布状況の把握に努めているほか、学生個人の就職や大学編入学への推薦等の際にも客観的指標としてGPAを活用している。この客観的な成績評価指標についてはHPで公開するほか、学生便覧にも記載して周知を図っている。

（１）指標

成績評価における客観的な指標として、GPA（Grade Point Average）を用いる

（２）成績評価とGP

授業科目の成績は、「秀・優・良・可・不可」の５種で表すと共に、それぞれの評価に対して、下表のとおりGP（Grade-Point）を与える

ランク	評定	評価内容	GP
秀	合格	内容を十分に理解し、きわめて優秀な成績をおさめている	4
優		内容を十分に理解し、優れた成績をおさめている	3
良		内容を理解している	2
可		内容をほぼ理解している	1
不可	不合格	内容を理解していない	0
認定	－	－	－

（３）相対評価により成績順位をつける場合にはGPAを用い、順位づけの範囲は「学校」とする

（４）GPA算出方法

$$\text{GPA} = \frac{(\text{履修科目のGP} \times \text{履修単位数})\text{の合計}}{\text{総履修単位数}}$$

GPAの最高は 4.0となる。（小数点以下第２位四捨五入）

卒業・進級の認定基準

（概要）

■教育目的

本校は、教育基本法及び学校教育法に基づき、商業実務専門課程及び教育・社会福祉専門課程並びに文化・教養専門課程を設置し、これらの分野に関する教育を施し、人格の陶冶を行い、もって有為な人材を育成することを目的とする。

■卒業の認定

本校に修業年限以上在学し、下記に定める授業時間数以上を履修し、かつ、下記に定めるところにより授業科目及び単位数を修得し、卒業審査に合格した者について、校長が行う。

（１）経理本科２年制学科（情報）

１，７００時間（６２単位）

（２）医療事務学科

１，７００時間（６２単位）

（３）介護福祉学科

２，０７４時間（６８単位）

（４）スポーツ学科
１，７００時間（６２単位）

■専門士

下記学科を修了した者には、次の称号を授与する。

課程名・学科名	称号
商業実務専門課程経理本科２年制学科（情報）	専門士（商業実務専門課程）
商業実務専門課程医療事務学科	専門士（商業実務専門課程）
教育・社会福祉専門課程介護福祉学科	専門士（教育・社会福祉専門課程）
文化・教養専門課程スポーツ学科	専門士（文化・教養専門課程）

学生便覧より抜粋

２．卒業について

各課程・学科の修業年限に在籍し、所定の授業科目の履修を積み重ね、各課程・学科の卒業に必要な授業科目および単位数を修得し、卒業審査に合格した者について卒業できる。その場合には卒業証書を授与する。

（１）卒業を認められる者のうち、文部科学大臣が認める所定の学科（１年制コースを除く）を修了した者は、「専門士」の称号を授与する。

（２）それぞれの課程・学科に定められた授業科目および単位数などで一定の基準を満たしていない者は、追試などを受けなければ卒業できない。

（３）卒業に関する要件は、各課程・学科によって異なるため、入学後のオリエンテーションや進級ガイダンスなどで確認すること。

（４）欠席累計が 100 日（休学日数を含む）に達した者は卒業できない

学修支援等

（概要）

個別相談・指導等で対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、ポータルサイトで連絡、個人面談、保護者との連携を実施している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
9 人（100%）	人（　　%）	9 人（　100%）	人（　　%）

（主な就職、業界等）

野村不動産ライフ＆スポーツ㈱、社会福祉法人恩賜財団済生会　山形済生病院

（就職指導内容）

全体指導によるレクチャー、個別相談、個別面接トレーニング、三者面談　など

（主な学修成果（資格・検定等）

AFAART、AFAAIGFI、JATI トレーニング指導者

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
20 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生の様子（出席状況、授業態度、交友関係、ミニテストの成績等）をクラス担任ミーディングで共有し、注意を要する学生に対する支援策を都度実施している。		

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
経理本科 2 年制学科 （情報）	0 円	660,000 円	400,000 円	入学生がいないため、入学金は 0 とした。
医療事務学科	120,000 円	660,000 円	320,000 円	
介護福祉学科	120,000 円	660,000 円	320,000 円	
スポーツ学科	120,000 円	660,000 円	380,000 円	
修学支援（任意記載事項）				

ｂ）学校評価

自己評価結果の公表方法
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）
当学園の教育理念は、学生に対して資格取得教育、実務教育を施し、人格の陶冶を行いもって有為な産業人を育成することである。この教育理念に基づき実践的な教育が実現出来ているか、また、その教育を実現するために必要な環境が整っているかについて、学校関係者評価委員を設置して下記に示す評価項目から評価する。課題の残る評価結果については、課長職以上の管理職より改善計画を策定し、次年度以降の学校運営に反映させ改善を図る。 （１）教育理念・目的・育成人材像 （２）学校運営 （３）教育活動 （４）学修成果 （５）学生支援 （６）教育環境 （７）学生の募集と受け入れ

（８）財務
（９）法令等の遵守
（１０）社会貢献・地域貢献
（１１）国際交流

学校関係者評価の委員

所属	任期	種別
社会医療法人二本松会　かみのやま病院	令和７年４月１日 ～令和９年３月 31 日（２年）	企業等委員
山形市医師会	令和７年４月１日 ～令和９年３月 31 日（２年）	企業等委員
イムスグループ　医療法人財団明理会　山形ロイヤル病院	令和７年４月１日 ～令和９年３月 31 日（２年）	卒業生
社会医療法人みゆき会　みゆきの丘	令和７年４月１日 ～令和９年３月 31 日（２年）	企業等委員
山形市内特別養護老人ホーム施設長連絡会	令和７年４月１日 ～令和９年３月 31 日（２年）	企業等委員 （有識者）
社会医療法人みゆき会　みゆきの丘	令和７年４月１日 ～令和９年３月 31 日（２年）	卒業生
株式会社ヤマコー コミュニティ事業部　ウェルネス事業	令和６年４月１日 ～令和８年３月 31 日（２年）	企業等委員
公益財団法人　山形市スポーツ協会	令和７年４月１日 ～令和９年３月 31 日（２年）	企業等委員 （有識者）
社会福祉法人恩賜財団済生会　山形済生病院	令和７年４月１日 ～令和９年３月 31 日（２年）	卒業生
山形県工業技術センター	令和６年４月１日 ～令和８年３月 31 日（2 年）	企業等委員 （有識者）
株式会社エム・エス・アイ	令和６年４月１日 ～令和８年３月 31 日（２年）	企業等委員
エヌ・デーソフトウェア株式会社	令和６年４月１日 ～令和８年３月 31 日（２年）	企業等委員
エヌ・デーソフトウェア株式会社	令和６年４月１日 ～令和８年３月 31 日（２年）	卒業生
（山形市）城南むつみ町内会	令和７年４月１日 ～令和９年３月 31 日（２年）	地域住民

学校関係者評価結果の公表方法

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）
https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/

第三者による学校評価（任意記載事項）

ｃ）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）
https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/

（別紙）

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H106320171118
学校名（○○大学 等）	山形スポーツ医療福祉専門学校
設置者名（学校法人○○学園 等）	学校法人　大原学園

１．前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		45人（ － ）人	44人（ － ）人	42人（ － ）人
内訳	第Ⅰ区分	18人	15人	
	（うち多子世帯）	（ 0 人）	（ 0 人）	
	第Ⅱ区分	12人	13人	
	（うち多子世帯）	（ 0 人）	（ 0 人）	
	第Ⅲ区分	12人	12人	
	（うち多子世帯）	（ 0 人）	（ 0 人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	－	－	
	区分外（多子世帯）	－	－	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（ 0 ）人
合計（年間）				42人（ － ）人
（備考）				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）第４条第２項第１号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第４９号）第２条第１項第２号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	0人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	－
３月以上の停学	0人
年間計	－
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

（１）停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

３月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
ＧＰＡ等が下位４分の１	0人	0人	0人

４．適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が警告の基準に該当）	0人	0人	0人
ＧＰＡ等が下位４分の１	－	0人	－
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	－	0人	－
計	－	0人	－
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。